



問

脳ドック助成制度の導入について問う

脳卒中や脳梗塞などの脳血管疾患は重い後遺症を残し、介護が必要となる要因の一つでもあることから、予防や早期発見が重要である。脳ドックの受診を希望しても費用負担が大きいとの声があり、三重県内では費用助成を実施している自治体もある。市民の健康を守り予防医療の選択肢を確保するため、津市においても他市の取り組み状況等を調査・研究し、同助成制度を導入できないか。

答

周辺市町の動向も踏まえながら今後研究を進めていく

脳ドックは、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患の早期発見につながる検査として効果が期待できるものではあるが、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が当疾患の大きな要因とされていることから、特定健康診査を通じた日頃の健康管理が重要と考えている。津市においても、国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病の早期発見、重症化予防などを目的として特定健康診査を実施している。国民健康保険の保健事業として脳ドックの受診費用への助成を行うことについては、周辺市町の動向も踏まえながら、今後研究を進めていく。

その他の質疑・質問

- 物価高騰対策・水道料金基本料金無料化
- プレコンセプションケアの推進について
 - 学校におけるライフプラン教育の現状について
 - 健康医療の視点に立った若い世代への啓発は
- 特定不妊治療費助成制度について
 - 相談体制について
 - 周知の充実について

▶
三重県立看護大学で毎月開催している、不妊等に悩む方の交流会（予約不要、参加費無料）



問

今こそ津市は津城跡（お城公園）の整備に正式に取り組むべき

NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の影響で注目される中、令和8年11月に津市で開催される高虎サミットを成功させ、津市の魅力を発信するため、残念な現状のお城公園に手を入れてきれいにするべきではないか。また、ふるさと納税や津城復元に向けた市民の取り組み等を踏まえ、今こそ津市は、専門家を入れた委員会を設置し、津城跡の整備に正式に取り組むべきではないか。

答

適切な維持管理を行い、史跡価値を高める整備を進めていく

お城公園の維持管理については、園内の広場や園路の除草、樹木剪定、高虎像の清掃などを実施しており、特に多くの方が来訪する津まつりや高虎サミットに合わせ、秋口にはこれらを集中して実施することで良好な景観の保全と創出に努めていく。津城跡の整備については、令和8年2月に三重県指定史跡津城跡（お城公園）整備活用（第1次）計画を策定し、津城跡の史跡としての価値を高めるための整備の一環として、令和8年度から令和10年度にかけて公園整備を行っていくこととした。また、史跡の本質的価値向上のために必要となる整備の在り方についても整理していく。

その他の質疑・質問

- 議案第74号 令和8年度津市一般会計補正予算（第2号）より
 - 地震被害想定調査事業
 - 津駅周辺整備事業
- ナフサ問題の影響とその対応策について
 - 市の公共事業や補助制度について
 - 市内事業者（地域経済）について

▶
津市のまちの象徴として、正式に津城復元に取り組みたい

